

## 第5回 明石市財政及び公共施設のあり方に関する検討会（議事要旨）

日 時	2024 年(令和 6 年)10 月 26 日(土) 13:00～15:30
場 所	明石市役所分庁舎 4 階 教育委員会室
出席者	石原会長、石山委員、齊藤委員、岡平委員、河田委員、楠目委員、瀬能委員、森田委員、小田委員、増田委員
議 事	【報告事項】 (1) 検討会委員から第4回検討会以降に提出された意見 【審議事項】 (2) 財政白書(素案)
配布資料	・次第 ・検討会委員からの主な意見(第4回検討会以降) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> ・(仮称)みんなでつくる財政白書 本編(素案) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span> ・(仮称)みんなでつくる財政白書 資料編(素案) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span>
事務局	総務局財務室財務担当

### 1 開 会

#### 2 検討会委員による審議

(1) 検討会委員から第4回検討会以降に提出された意見

※事務局から資料説明 (資料1)

(2) 財政白書(素案)

※事務局から資料説明 (資料2・資料3)

～タイトルについての検討(資料1・資料2)～

(A委員)

- ・ 「財政」という言葉がないと、そもそも何なのかが分からなくなるため、タイトルに「財政」は必須である。

(B委員)

- ・ 「マンガとコラムで」のような文言があれば、手に取ってもらいやすいのではないかと。
- ・ 財政白書という言葉は残しつつ、マンガもあるということが分かるサブタイトルを付けたい。

(C委員)

- ・ 「みんな」という言葉はあった方がよい。「明石」もあった方がよいと思うが、表紙の写真で明石市であることが分かるのであれば、あえて入れる必要はない。

- ・ みんなで財政白書に取り組んできたことが伝わるタイトルにしたい。

(会長)

- ・ 「みんな」と「財政白書」という意見が出ている。
- ・ 仮称には「つくる」という言葉が入っているが、これから市民の皆さんに見ていただくにあたって、「つくる」という言葉を残すかどうかについても議論していただきたい。
- ・ 読み手である市民の立場からすると作ったわけではないが、市民みんなでシェアしていくという意図として残すことも考えられる。

(D委員)

- ・ 実際に検討会などに参加いただいている市民もいるので、「つくる」という言葉は残してもよいのではないか。

(E委員)

- ・ 実際に手を動かして作ったわけではないかもしれないが、中身の数字というのは市民の活動によって作られるという解釈も可能なので、「つくる」という言葉は間違いではないと思う。
- ・ 財政白書の目的は、将来のために今どうするか、今までがどうだったのかを理解するものと考えている。将来や未来ということも意識したタイトルにしたい。

(F委員)

- ・ 「つくる」という部分については、当初から気になっていた。果たしてこのプロセスで、みんなで作ったことになるのかどうか。
- ・ タイトルには「描く」「つくる」「歩む」「考える」のような言葉が考えられる。

(G委員)

- ・ 「みんなの財政白書」のように、主なタイトルはシンプルな方がよいのではないか。
- ・ サブタイトルについては、学生の方がどのような言葉であれば手に取ってみたいと思ってくれるのが重要だと思う。難しいイメージを与えず、「すぐ分かる」のような言葉を入れるのもよい。この点については、年齢が若い委員の意見が参考になるのではないか。

(H委員)

- ・ 「漫画とコラムで明石の財政を解きほぐそう」というタイトル案は、学生の方でも手に取ってもらえると思って提案したものである。
- ・ 会話形式が使われているので、数字やグラフが苦手な人でも会話を追っていけば明石市の財政が何となく掴めるようになっている。今や将来の財政状況を考えてもらうきっかけにもらうために、感覚的に手に取ってもらえるだけでも財政白書の意味があると考えている。
- ・ 「みんな」は入れた方がよい。「つくる」は関わりのない人がさらに遠ざかる気がする。

(会長)

- ・ 委員の意見やタイトル案の資料の中で「よくわかる」というフレーズが出てきているので、

サブタイトルに入れる考えもある。

- ・ タイトルに「の」を複数回重ねるのは良くない。一方、1回だけの「の」は使い勝手が良い。「みんなの財政白書」という意見があったが、それが1番シンプルな形として受け入れられやすいのではないか。
- ・ 毎年更新していくのであれば年度を入れた方がよいのではないか。

(I委員)

- ・ タイトル案の中で自分が選ぶとすれば、「漫画とコラムで財政を解きほぐそう」と「明石市のお財布事情をチェック！」の2つ。
- ・ 前者は漫画とコラムを加えることで堅苦しい資料ではないことが分かる。後者は身近に感じられる印象を受けたし、自分自身にも関係があるのだなということが伝わった。

(会長)

- ・ これまでの委員の意見として、サブタイトルのキーワードとしては「よく分かる」「漫画とコラム」「財政を解きほぐそう」「お財布事情」が挙げられる。
- ・ 例えば、「漫画とコラムでよくわかるお財布事情」といったところか。

(G委員)

- ・ 「漫画」の表記はいろいろ考えられるのではないか。

(D委員)

- ・ 漢字は堅い印象になるので、カタカナの方が手に取ってもらいやすいと思う。

(I委員)

- ・ コラムもカタカナなので、カタカナ表記で合わせてはどうか。

(会長)

- ・ これまでの意見をまとめると、タイトルは「みんなの財政白書」、年度は「2024」、サブタイトルは「マンガとコラムでよくわかるお財布事情」となる。
- ・ レイアウトなど細かい部分については事務局に一任する。

～表紙、目次、写真、マンガについての検討(資料2:P1～P7)～

(A委員)

- ・ 表紙のフォントはわざと崩したものが使われていて、よく考えられている。
- ・ 先ほどみんなで決めたタイトルがここに入っても、ハードルが高くない印象で良いと思う。

(G委員)

- ・ 表紙の写真はイラストでもよいのではないか。マンガでよく分かるというタイトルなら、表紙からマンガ的なものが出てきた方がよい。

- ・ 天文科学館のような代表的なシンボルもイラストで描いてもらい、マンガのキャラクターも登場すれば全体としてつながりが表現できる。

(C委員)

- ・ 表紙のインデックスは縦書きより横書きの方がよい。他はすべて横書きなので、インデックスだけが縦書きだと違和感がある。

(G委員)

- ・ インデックスの3番目に使われている「おさいふ」と、タイトルの「お財布」は表記が異なるので統一した方がよい。

(D委員)

- ・ 表紙の写真はパッと見たときに写真が貼り付けてあるだけに見えてしまう。色合いが一気に切り替わってしまうよりも、イラストなどで表現した方がよいのではないか。

(B委員)

- ・ 表紙の下部にある白抜き部分に堅い文章が入っているので削除した方がよい。

(A委員)

- ・ 表紙はレイアウト担当の方がいろいろ試行錯誤のうえでこのような形にしたのだろうと思う。
- ・ レイアウトのセオリーでいくと、タイトルは左端からスタートした方がタイトルに目がいきやすい。インデックスも横書きにすることで1枚絵として全体を作れるのではないか。
- ・ たくさんのレイアウト案の中から絞り込んでいく方が選びやすいと思う。

(会長)

- ・ 委員の意見とともに、専門家の知恵も借りながら仕上げてもらいたい。

～明石市の財政状況を見てみよう、明石市の「おさいふ」の中身についての検討(資料2:P8～P11)～

(B委員)

- ・ P10の実質公債費比率について、折れ線グラフの色がイエローカード・レッドカードと同じ色になっているので変えた方がよい。
- ・ 左下の図で、明石市の数値とプロットされている位置が合っていない。

(I委員)

- ・ P8の下部にCHECKというマークがある。他のページでも強調したい部分に使ってはどうか。

(会長)

- ・ P8で財政健全化の取組の部分の文字が少し小さい。

- ・ LEDは財政的な節約効果もあるが、CO2問題などSDGsの観点で効果がある。自治体の取り組みとしてももう少し前面に出してもよいかもしれない。

(C委員)

- ・ P8はキャラクター(中崎さん)が多用されすぎている。左下の吹き出しを1つにまとめれば減らせるのではないか。
- ・ P9の右上のグラフでも、グラフ中に減少傾向であることを記載すれば、キャラクターや文字量を減らすことができる。
- ・ 質問するキャラクターはページによって変えた方がよいのではないか。

(F委員)

- ・ P8上部の会話について、質問と答えが噛み合っていない。また、何をもって良好と表現しているのか気になる。
- ・ P10の左下のグラフについて、それぞれ50%にラインが引かれており、平均ラインではないようだが何か根拠を持った数値なのか。

(会長)

- ・ 50%ずつでラインを引いてしまうと、図の左下に位置する自治体がゼロになってしまう。
- ・ これを見た人に対して、明石市は他市と比較してどのような状況にあるのかを分かってもらえるような線の引き方が必要である。

(G委員)

- ・ 色の情報量が多い。また、どういうまとまりごとに色が設定されているのか分からず、情報だけが多いと感じてしまうので、章ごとか全体で統一したルールが必要である。
- ・ 黒い枠がある円グラフとない円グラフがある。
- ・ 文字のフォントが統一されていない。
- ・ 情報が多くなりすぎると最後まで読み切れなくなってしまうのもったいないと感じる。

(会長)

- ・ P11で写真と文字の配置が会計ごとに違っているので統一した方がよい。

(A委員)

- ・ A4横のレイアウトで、横長にまとまりを作ってそれを縦に並べている。このような作りは間違っているわけではないが、目線の動きが大きくなってしんどく感じる原因となる。
- ・ 例えばページの左と右にそれぞれのまとまりを作るなどの工夫が考えられる。
- ・ P11は会計ごとに列がズレている。横並びの情報は列を合わせた方がよい。
- ・ いろいろなレイアウトが考えられるが、工夫次第でもっと見やすくできると思う。

(G委員)

- ・ 『「おさいふ」の中身』がP11の1ページしかなく、バランスが悪い。タイトルに「お財布」を使うのであれば、なおさら重要な章になるはずである。
- ・ 市民1人あたりの予算の使いみちなどと統合させてしまうのはどうか。

(C委員)

- ・ P10右下の吹き出しについては、せっかくこどものキャラクターがあるので、学校が古くなっているという旨のこどもの吹き出しにしてほしい。
- ・ 『「おさいふ」の中身』は、後半の家計簿に統合してもよいと思う。

～「市の決算をしてみよう」以降についての検討(資料2:P12～最後)～

(D委員)

- ・ P15の上部のグラフについて、右肩上がりに増え続けていることが分かるように矢印を伸ばした方が分かりやすい。

(A委員)

- ・ P15左のグラフは、明石市民が他の自治体にふるさと納税をした結果、明石市の税収が減少していることを表している。財政的にはネガティブな情報であるのに、右上に伸びているグラフだと良くなっているという印象を受けるのではないか。

(会長)

- ・ ページの見せ方として、上に明石市への寄附額、その下に他の自治体への寄附額、最後に市税の減少額のうち75%を国が補てんした後の収支を折れ線グラフで表してもいいかもしれない。
- ・ ふるさと納税の収支について、財政部局としてはどのように捉えているのか。

(事務局)

- ・ ふるさと納税の収支は黒字を確保している状況である。
- ・ 前回までの資料では、他市において市税の流出が問題になっているという説明を入れていたが、委員からもう少し明るい内容をという意見があったので、これまでの市の取り組みによって改善されてきたという内容に修正している。
- ・ グラフで表現しきれない部分を文字で補うとまた分かりにくい印象を与えるので悩ましい。

(会長)

- ・ 単純な寄附額だけで収支が決まるのではなく、国からの補てんや返礼品に使う経費もあるので、うまく説明するのは確かに難しい。

(G委員)

- ・ 明石市ではふるさと納税をどのような目的に使っているのか。

(事務局)

- ・ 例えばこども施策等に活用させていただいている。

(G委員)

- ・ 返礼品を充実させて、ふるさと納税の収支を改善する努力をしていることは表現すればよいと思うが、市民に共感してもらうためにも、どのような用途にふるさと納税を活用して、寄附先として選ばれる努力をしているのかという点についても記載した方がよい。

(E委員)

- ・ 国から75%が補てんされることをこのページを読んで知ることができた。
- ・ 収支が5千万円のプラスになっていることがグラフでビジュアル化されており、一般的な市民が知りたいと思うことが1ページにまとまっているので、個人的にはすごく分かりやすいページになっていると思う。

(B委員)

- ・ P12は市税を含めた歳入全体のページであり、P13はそのうち市税を取り上げたものになっている。この流れがやや分かりづらい。市税は市民が納めた税金なので、特に市税についてしっかりと見ていきましょうという説明を間に入れてはどうか。

(C委員)

- ・ P12の円グラフは文字を白囲みしているが、背景も白なので見つらく感じる。
- ・ これまでの推移の文章は「平成26年度と比較すると約1.3倍になりました(300億円増加)」ぐらいにした方が文章として読みやすい。
- ・ ページ下部の家族の発言は誰か1人の発言でよい。

(会長)

- ・ その発言の中で「市が使えるお金」という表現は、「市が自由に使えるお金」という誤解を与えないだろうか。歳入には国からの補助金のように用途が指定されているお金も多いので、歳入全額を自由に使えると思われないような表現に変えた方がよい。

(D委員)

- ・ P19はすべて緑色が使われてひとかたまりに見えてしまうので、グラデーションを付けるなど見やすい工夫をしてはどうか。

(会長)

- ・ このような場合、どうすれば見やすくなるのか。

(A委員)

- ・ もしテーマカラーが決まっているなら明度を変えてグラデーションを付ける。または見せたいものが決まっているなら1ヶ所だけ色を変えるなどが考えられる。

(会長)

- ・ 図の中身を見てみると、総務費は他団体より低くなっている。管理にかかる諸費用が他市より抑えられているなど、質的な情報を有効に使えばよいと思う。
- ・ 明石市が子育て施策等に多くのお金を使っても中核市で16位ということは、全国的に

行われる義務的な施策と市単独で行う施策の違いを図で表現するのがなかなか難しいということを実感する。

(I委員)

- ・ P14の右下に人口30万人以上で事業所税が課税されると書かれているが、グラフはすべてパーセント表示になっているので、人数も加えた方が見やすい。

(E委員)

- ・ P19の右上に決算速報値と記載されているが、これはどのような意味なのか。

(事務局)

- ・ 現時点で分かっている決算の数値を用いているが、今後修正の可能性があるため、確定値ではないことを示すために記載した。
- ・ 財政白書が完成するときには確定値になっているため、この文言は削除する。

(会長)

- ・ 同じページで中核市の説明があるが、「規模が比較的大きな」という表現は不要であると思う。

(E委員)

- ・ P20、P21は市民に直接関わる場所にどれくらいのお金が使われているのかが分かりやすく書かれている。
- ・ 「国保・介護への負担」は、1人あたりに換算するとき人口で割っているが、サービス利用者で割る方がよいのではないか。
- ・ P22は介護保険料について1ページでまとめられていて分かりやすく、財政に興味を持ってもらう入口になる資料である。
- ・ 介護保険制度の中に介護保険給付準備基金があるようだが、円グラフに表現されているのか。もしくは、あえて記載していないのか少し気になった。

(事務局)

- ・ 基金の取り崩しや積み立てがどれくらい市民の皆さんの興味を惹くかを考えた結果、記載しなかった。
- ・ 基金は介護保険特別会計の中の話だが、このページは要介護認定者が増加することで介護保険料が年々増えていることに焦点を当てている。

(会長)

- ・ 介護認定率が下がれば介護保険料は下がることになる。
- ・ ある自治体では、高齢者の皆さんの健康づくりを市民参画のもとに行っている。介護保険にお世話にならないよう、少しでも元気でいようという取り組みを市が主催している。
- ・ そのような取り組みについても、財政白書を読むことで伝わってくるような工夫ができればよいと思う。



(B委員)

- ・ P17左上のグラフで、水色は老人福祉費と表記されているが、右の表では老人福祉費がなく、その他と表記されている。
- ・ 実際は災害救助費があるのでその他と表記しているのだと思うが、パッと見たときに分かりづらいので統一した方がよいのではないか。
- ・ グラフの上の文章が見出しと同じ位置にあるので、場所を変えた方がよい。

(C委員)

- ・ ふりがなが付いているものと付いていないものがあるので、何歳までに習う漢字なら付けるのかルールを決めた方がよい。

(事務局)

- ・ 当初は全部ふりがなを付けていたが、少し見づらかったので減らしている。

(会長)

- ・ 明確な基準を設けるかは分からないが、行政用語にはふりがながあった方がよい。
- ・ P21で中学校給食はあえて枠を作っているのか。小学校給食は運営費用の中に含まれているので、何か意図があるのか気になった。

(事務局)

- ・ 中学校給食を無償化しており、無償化に必要な経費ということが読み取れるよう修正する。

(A委員)

- ・ 資料はデータでは1ページずつ見るが、紙に印刷したものは見開きで見ることになる。
- ・ 現在はパワーポイントで作成しているので1ページずつデザインされているが、見開きを意識して作成すると、見出しはまとめたりすることができる。
- ・ どちらの形式にするかによって、見せ方は変わってくるかなと感じる。

(会長)

- ・ P19のコラムⅣとP20のコラムⅤで、タイトルの言葉が少しだけ違っているのが気になった。
- ・ P28は現時点では空白だが、最終的には企業広告が入る予定とお聞きしている。

～資料編についての検討(資料3)～

(会長)

- ・ これまで資料編についてはあまり議論できていなかったが、本編と資料編をあわせて財政白書とするので、気付いた点があれば意見をいただきたい。
- ・ 資料編の表紙はキレイな写真が使用されていて見栄えが良くなっている。
- ・ P245の資産老朽化比率は一般会計ベースか普通会計ベースか。水道や下水道事業

は入っているのか。

(事務局)

- ・ 普通会計ベースである。

(会長)

- ・ 早い時期に下水道整備に着手した自治体は合流管が多く残っており、老朽化が進んでいる。
- ・ 普通会計ベースではこの部分について触れていないため、うまく表現できる方法があればよいと思う。

(B委員)

- ・ P177で費目変更が灰色の矢印で示されているが、どこどこが入れ替わったのかが直感的に分かるよう、四角で囲むなどした方がよい。

(G委員)

- ・ P245は普通会計ベースで、文章の中に「公共施設」という言葉が使われている。一方、P257は同じ「公共施設」について説明しているページだが、上下水道についても記載されている。両者が合っていないので、整理が必要ではないか。

(D委員)

- ・ P172のように他市と比較をするページで折れ線グラフが使われているが、色が多すぎたり、似ている色がある。他市を薄くするか点線にするなどして、明石市を強調できるようにした方がよい。

(A委員)

- ・ 何を目立たせたいのかによると思う。明石市を目立たせるのであれば、他の市は同一系統の色相にすることも考えられる。

(B委員)

- ・ P266のグラフは何が言いたいのがよく分からない。割合を比較するのであればパーセンテージを表記し、絶対値を比較するのであれば高さの違いを示した方がよい。

(会長)

- ・ P166で明石市の消防職員数が非常に少ないようである。同規模の自治体と比較すると大きな差がある。

(事務局)

- ・ 市民一人あたりの消防費が少ないのは、市域がせまいため、人件費が少ないことが理由である。

(C委員)

- ・ P173のようなまとめのページについて、A4横だと左右に文章が長くて読みづらい。縦で費目ごとにまとまりを作れば見やすくなるのではないか。

(A委員)

- ・ 資料の中で角丸が多く使われているが、サイズが統一されていない。
- ・ 角丸は大きくしすぎると中に入る文字が窮屈に見えてしまうので、2行ぐらいの文章がちょうどよい。

(E委員)

- ・ P230は今回新たに追加されたページだが、どのような経緯で追加することになったのか。

(事務局)

- ・ 資料を作成する上で様々なところから意見をいただいております、自治体会計がなぜ現金主義をとっているのか記載した方が理解が深まりやすいとの意見があったことから追加した。
- ・ 資料編はページ数が非常に多いが、興味がある人が興味を持った部分を深く知るために作成している。

(会長)

- ・ 自治体の現金主義とは、契約時には取引を記録せず、実際にお金の受け渡しがあったときに記録しようというものである。
- ・ お金の動きに着目した会計手法であり、お金は知識があまりなくてもチェックができるというメリットがある。だから日本に限らず、ほとんどの国の市役所のような機関は現金主義を採用している。
- ・ ただし、これから長く使う施設にお金を使った場合、最初の年に全額が記録されて後年度に表れてこない。これを克服するために、自治体は財務書類も作成している。

(H委員)

- ・ この資料を見れば、市役所の職員がどれだけの労力を使って作成されたのかが想像できる。市の財政という規模で、これだけ丁寧に作られていることに感動している。
- ・ 実際に読んでみて見づらい印象を受けたページもあるので、その点が修正されれば十分であると思う。

(F委員)

- ・ P279の欄外に「受益者負担の適正化については取組に至っていません」と書かれている。こどものための施策をやっている現状を変えていくことが前提のように聞こえるので、この表現でよいかどうか気になる。
- ・ P183の家計簿はなくてもよいと思う。自治体の財政を家計簿で表現するのは無理やりな感じがするので分かりづらい気もする。
- ・ もし残すのであれば、本編と少しだけ項目が異なるので、本編と合わせるか、こちらをベースに本編を変えるかをした方がよい。

(会長)

- ・ 受益者負担の適正化の議論と政策的な減免の議論は分けて書いた方が誤解を生まないと考えている。
- ・ どちらも良いことなので、受益者負担の問題が悪いことであるという表現にはしない方がよい。やがては水道料金や下水道使用料の問題も出てくると思う。

(G委員)

- ・ 本編はP13で一般会計を中心に説明すると書かれていたが、資料編は特別会計の章も作られている。特別会計があるのに企業会計にまったく触れないというのもどうかと思う。
- ・ 独立採算制をとっているので一般会計と切り離して考えることも可能だが、一般会計からの繰出金もあるので切り離さない方がよいと考えることもできる。
- ・ 企業会計についての説明はしないのであればそれでも良いとは思いますが、それなら他のページで上下水道管についての記載はない方がよい。

(事務局)

- ・ 前回までは事務局から水道・下水道については独自の経営戦略を持つので企業会計は財政白書の対象外であるという説明をしていた。
- ・ 検討会やその他の場面で、下水道や管路について知りたいという意見も多く出てきたので、市民の方に知っておいてもらいたい部分を中心に掲載が可能かどうか検討したい。

(A委員)

- ・ いらすとやのイラストを使用している点が少し気になっている。今後規約が変更された場合に、利用料の問題や既存の資料の修正が必要ということになる。
- ・ いらすとやのイラストの代わりに、マンガのキャラクターを使ってもよいのではないかな。

(会長)

- ・ 以上で検討は終了とする。
- ・ タイトルについては皆さんの意見で決定した。表記については事務局に一任する。
- ・ 委員の意見は事務局で集約し、対応したうえで後日皆さんにご確認いただきたい。

### 3 その他(事務連絡)

- ・ タウンミーティング:11月9日(土)午後
- ・ 第6回検討会:令和7年1月~2月頃
- ・ パブリックコメント:12月~1月頃

### 4 閉会